

株式会社レスターホールディングス

2021年3月期第1四半期
決算補足説明資料

2020年8月12日



2021年 3 月期第 1 四半期 連結業績



業績ハイライト

(単位：百万円)

	2020年3月期 1Q		2021年3月期 1Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
売上高	106,973	－	68,663	－	△ 38,310	△35.8%
売上総利益	6,878	6.4%	5,693	8.3%	△ 1,185	△17.2%
販管費	5,244	4.9%	4,676	6.8%	△ 568	△10.8%
営業利益	1,633	1.5%	1,016	1.5%	△ 617	△37.8%
経常利益	3,992	3.7%	1,081	1.6%	△ 2,911	△72.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,547	3.3%	745	1.1%	△ 2,802	△79.0%

※2020年3月期第1四半期、2021年3月期第1四半期ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

12月決算である海外子会社の決算期を3月決算に統一：2020年3月期 1Qには対象会社の2019年1月から3月の増額分を含みます。

売上高：生産稼働率低下や需要低迷の影響等により、前年同期比で減収

売上総利益：プロダクト・ミックスの改善にともない総利益率は向上

営業利益：販売管理費等の削減を行うが、減収等の要因で営業利益は減益

経常利益／親会社株主に帰属する四半期純利益：

前期は「持分法による投資利益」（営業外収益）の発生による大幅な増益額を計上

* 従来の事業範囲にとられない新しいビジネス形態として、医療用ガウンの製造・供給における運用オペレーションのビジネスを構築するなど新しいスキームも積極的に創出



半導体及び電子部品事業

■ デバイス ■ EMS

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	1Q	1Q	増減金額	増減率
	金額	金額		
売上高	80,687	47,354	△ 33,333	△41.3%
セグメント利益	1,067	1,376	309	29.0%



※2020年3月期第1四半期、2021年3月期第1四半期ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。
12月決算である海外子会社の決算期を3月決算に統一：2020年3月期1Qには対象会社の2019年1月から3月の増額分を含みます。

■ デバイス事業

- ・車載関連の生産調整や民生向けの需要低下等の主な要因により売上高は減収

■ EMS事業

- ・海外での情報通信端末向けディスプレイ需要は堅調、決算期変更に伴う影響額が正常化したことにより、売上高は若干減収

* セグメント利益

- ・販売管理費等の削減に加えて、新規事業の立上げ等による利益寄与も奏功して、利益率とあわせて増加

調達事業

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	1Q	1Q	増減金額	増減率
	金額	金額		
売上高	19,696	16,052	△ 3,644	△18.5%
セグメント利益	118	△ 102	△ 220	—

■ 調達



※2020年3月期第1四半期、2021年3月期第1四半期ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

■ 調達事業

- ・生産・販売面での調整の影響、及び新規調達ビジネスにおける立上げ遅れ等もあり、売上高は減収
- ・今後は高効率のサプライチェーン構築を追求し販売を伸ばすと共に、外部パートナーとの連携を通じて新規のサプライチェーンマネジメントのスキーム展開を図る

電子機器事業

■ 電子機器 ■ システム機器

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	1Q	1Q	増減金額	増減率
	金額	金額		
売上高	4,314	3,415	△ 899	△20.8%
セグメント利益	△ 137	△ 144	△ 7	-



※2020年3月期第1四半期、2021年3月期第1四半期ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

■ 電子機器事業

・主に放送機器や計測機器など企業向けの需要が減少したため、売上高は減収

■ システム機器事業

・決済用キャッシュレス端末（非接触型端末）等の需要が堅調に推移し、売上高ならびに利益ともに増加

* ライフサイエンス分野に加え、テレビ会議システム、オンライン講義システム、検温システムといった、新しい様式に対応したビジネスの拡大を推進

* 2020年7月1日に広範なグループ事業領域の保守サービスを行うことを目的として、株式会社レスタースソリューションサポートが営業を開始

環境エネルギー事業

■ 発電 ■ 新電力 ■ 植物工場

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	1Q	1Q	増減金額	増減率
	金額	金額		
売上高	3,067	2,544	△ 523	△17.0%
セグメント利益	491	86	△ 405	△82.4%



※2020年3月期第1四半期、2021年3月期第1四半期ともにのれん償却額及び無形資産償却額を含みます。

■ エネルギー事業

- ・主にパネル販売の需要減と天候不順の影響等を受けて売上高は減収
- ・新規の風力発電や台湾での太陽光発電事業は計画通りに進捗

■ 新電力事業

- ・オフィス関連での電力需要の低下等により売上高は減少
- ・卒FIT（固定買取制度終了後の電力購入の仕組み）を活用した地産地消の新しい取組みを推進

■ 植物工場事業

- ・首都圏での需要減少等もあり、売上高は若干減収
- ・生産効率の更なる改善とともに、コンビニエンスストアとの共同開発による新商品の拡大等を図る見通し

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年3月末	2020年6月末
資産の部		
流動資産	133,937	124,271
固定資産	63,116	64,752
資産合計	197,053	189,023
負債純資産の部		
流動負債	103,432	97,053
固定負債	19,852	18,723
純資産	73,768	73,247
負債純資産合計	197,053	189,023
自己資本比率	-	37.1%
BPS (円)	-	2,329.57



2021年 3 月期 通期見通し及び前期比



通期見通し及び前期比

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 通期見通し	前期比
	金額	金額	
売上高	379,548	350,000	92.2%
営業利益	6,637	6,000	90.4%
経常利益	9,025	6,000	66.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,722	5,000	87.4%

- ・成長戦略の加速と顧客への全方位的な販売展開を強化
- ・新規事業の更なる拡大やテレワーク対応支援システム等の積極的な販売、地方自治体との多様な展開、パートナーとの共創の取組みなど、新たなビジネス展開を推進
- ・社会課題の解決に直結する各種取組みのなお一層の進展

※各事業の回復を鑑み現時点で入手可能な情報に基づき、通期の連結業績を公表



株主還元方針

総還元性向※：50%以上

※配当及び自己株買いによる株主還元の合計金額を純利益で除した指標

- ・中期的に安定的かつ継続的な配当の維持
- ・将来の成長に向けての戦略投資を積極的に実施することで、
更なる利益の拡大・継続的な資本効率等の改善と向上を実現

	1株当たり配当金（円）		
基準日	第2四半期	期末	合計
配当予想 (2021年3月期)	35円00銭	35円00銭	70円00銭

TOPICS



エレクトロニクスの情報プラットフォーム

お客様のすべての課題をエレクトロニクスで解決する

革新的ビジネス
の創出

情報×技術
付加価値の向上

事業間シナジー

多様な事業展開

1. 新しいビジネス形態の創出

医療用ガウンの運用支援、卒FITの取組み

2. 新しい様式の提案

レスターグループの多様なソリューション提案

3. リモート・無人化のソリューション提供

ブルーイノベーションとの共創

4. 広範な事業領域の保守サービス

レスターソリューションサポートの設立

1. 新しいビジネス形態の創出

従来の事業範囲にとらわれないビジネススキームを展開

医療用ガウンの運用支援

リンカーズ社との共創による
製造・供給の運用オペレーション支援

地域産業の活性化

中小企業との協業を実現

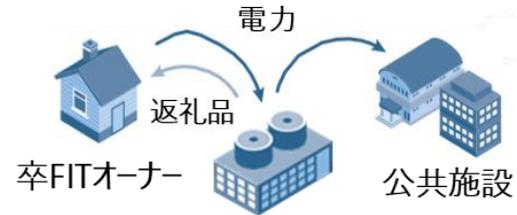
医療支援（行政との連携）



卒FITの取組み

トラストバンク社との共創による
エネルギーの地産・地消の促進・活性化

卒FIT電力の寄付サービスを活用



地域電力会社

自治体他 + 

2. 新しい様式の提案

レスターグループの多様なソリューション提案

テレワーク対応支援システム



オンライン教育講義システム



キャッシュレス決済



入退出セキュリティシステム



非接触体温測定
顔認識システム

※写真はイメージです

3. センシング技術を活用したリモート・無人化のソリューション提供

ブルーイノベーションとの共創

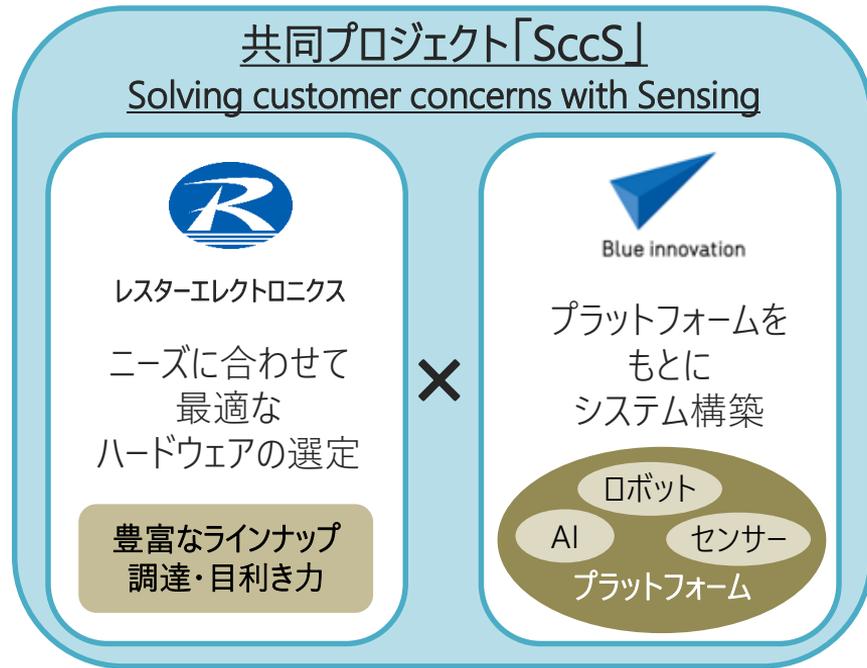
仕入先・パートナー

ロボット

多様なセンサー

5G

AI



ソリューションの提供



本件に関するプレスリリースはこちら > <https://www.restargp.com/news/1121/>

4. 広範な事業領域・自社による高品質な保守サービスを実現

(株)レスターソリューションサポートの設立

ゴール

設計・施工・保守までの
総合エンジニアリング会社へ

中期

顧客規模拡大・24時間365日自社対応

短期

レスターグループ事業の保守・メンテナンス

2020年7月1日 営業開始

映像・音響機器の保守業務



レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ共創を通じて新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて革新的な発想と情熱で挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ持続可能な社会の発展に貢献します

<お問い合わせ先>

広報・CSR・IR部 高嶋、吉田、榊原

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。